

## 家庭料理技能検定 審査基準一部改定に伴う変更点

### 1. 審査基準変更に伴う移行措置について

2021年度以前に一次試験合格し、2022年度に免除期間が残っている方については、一次試験で合格された級の二次試験を受験することができます。

### 2. 1級の受験資格について

準1級の合格条件がなくなりました。どなたでも受験できます。

### 3. 4・5級の試験名称について

C B TからI B Tに変更となります。

### 4. 一次試験（C B T・筆記）、I B Tの試験方式（選択肢の数）について

1級は四肢択一（複数解答含）、準1級は四肢択一、2級・3級は三～四肢択一、4級は二～三肢択一、5級は二肢択一となります。

### 5. 二次試験（実技）について

①合格基準が変わります（一次試験およびI B Tは6割以上で変更ありません）。

②事前公表問題が各級の各技能とも1問となります。

③1級に基礎技能が加わります（試験は基礎技能・調理技能合わせて90分となります）。

級	試験方式		合格基準	時間
1級	基礎技能	公表問題1問の中から当日1問出題	9割以上	90分 (基礎・調理)
	調理技能	公表問題1問の中から当日1問出題	9割以上	
準1級	基礎技能	公表問題1問の中から当日1問出題	8割以上	7分～10分
	調理技能	公表問題1問の中から当日1問出題	8割以上	40分～60分
2級	基礎技能	公表問題1問の中から当日1問出題	7割以上	5分～10分
	調理技能	公表問題1問の中から当日1問出題	7割以上	15分～20分
3級	基礎技能	公表問題1問の中から当日1問出題	7割以上	5分～10分
	調理技能	公表問題1問の中から当日1問出題	7割以上	15分～20分

### 6. 家庭料理技能検定公式ガイドの改定について

審査基準の一部改定に伴い、公式ガイドの改定版が発売されます（2022年2月発売予定）

以上

2021.11